

ハウスおとうでミヤコカブリダニ製剤を効果的に使用するための方法

ミヤコカブリダニ製剤（商品名：ミヤコバンカー®）を活用することで、化学合成農薬だけに頼らず、ナミハダニ密度の抑制を図ることができます。

ミヤコカブリダニは、ハダニ類の成幼若虫や卵を捕食する天敵であり、生物農薬（ミヤコカブリダニ製剤）として利用されています。ハウスおとうにおけるミヤコカブリダニ製剤を使用したナミハダニの防除については「新・果樹のハダニ防除マニュアル—天敵が主役の防除体系—（第三版）」（URL：https://www.naro.go.jp/publicity_report/publication/pamphlet/tech-pamph/130513.html）を参考に、本技術情報を踏まえることでミヤコカブリダニ製剤を効果的に使用することができます。

【設置方法】

- ・ 供試薬剤：ミヤコカブリダニ製剤（商品名：ミヤコバンカー、写真1）
- ・ 設置時期：落花後（ハウス内の日平均気温が12℃以上の時期以降）
- ・ 設置量：1樹あたり2～5パック/樹
- ・ 設置方法：主幹部、主枝または亜主枝に紐、ワイヤー等を巻き付け、そこにミヤコカブリダニ製剤を掛けて取付ける（写真2、3）。

【ハウスおとう圃場における設置上の留意点】

- ①ミヤコカブリダニが十分に活動できるように、薬剤の設置時期はハウス内の平均気温が12℃以上となる時期を目安とする。
- ②樹が大きく、主幹部から葉までの距離が遠い樹では、主枝や亜主枝ごとにミヤコカブリダニ製剤を設置することでミヤコカブリダニが新梢葉まで到達しやすくなる。
- ③ミヤコカブリダニ製剤はスプリンクラー等の水が直接かからない位置に取付ける。
- ④伸縮性のない紐やワイヤーを使用する際は樹に食い込むおそれがあるためきつく巻かないようにしてミヤコカブリダニ製剤を設置する。
- ⑤薬剤散布の際は、ミヤコカブリダニ製剤に対する薬剤の影響リストを参照し、ミヤコカブリダニに影響が小さい薬剤を選定する（新・果樹のハダニ防除マニュアル）。
- ⑥ミヤコカブリダニ等の天敵によるハダニ密度抑制効果を高めるためには、天敵に配慮した防除体系を継続するとともに、毎年ミヤコカブリダニ製剤を設置する。



写真1 ミヤコバンカー®



写真2 ワイヤーを使用した設置



写真3 主枝・亜主枝への設置

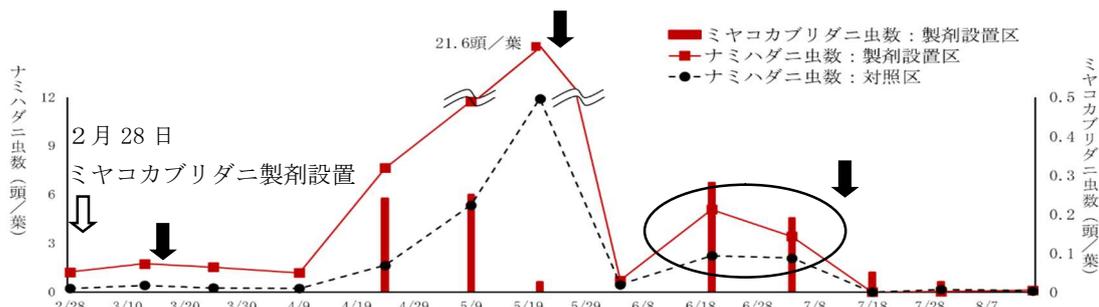
【実証試験の概要】

1. 試験方法

- 栽培概要：超早期加温栽培、加温開始日：2025年1月4日、満開期：2月10日頃、収穫期：4月20日～5月10日頃、雨除け被覆撤去：6月中旬
- 区制：製剤設置区（10a）、対照区（5a）
- 供試薬剤：ミヤコカブリダニ製剤（商品名：ミヤコバンカー®）
- 設置日：2025年2月28日
- 設置量：3～4パック/樹
- 設置方法：ワイヤーを使用して主幹部、主枝および亜主枝に設置
- 防除体系：2022年からミヤコカブリダニに影響が小さい薬剤を製剤設置区、対照区の両区で使用（表1）
- 調査方法：2月28日から8月29日までの期間、各区調査樹1樹あたり新梢葉10葉と徒長枝葉10葉についてナミハダニ成幼虫およびミヤコカブリダニ雌成虫の確認虫数を計測した。

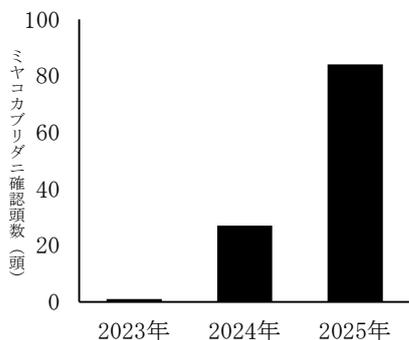
2. 結果

- 被覆期間中は、ミヤコカブリダニのナミハダニ密度抑制が不十分で、殺ダニ剤による防除が必要であった。
- 被覆除去後は、ミヤコカブリダニの十分な増加が見られ、密度抑制効果が確認できた（図1）。
- ミヤコカブリダニ製剤を3年間毎年設置し、ミヤコカブリダニに影響が小さい薬剤で防除を3年間継続した圃場において、ミヤコカブリダニ製剤を主枝だけでなく、亜主枝にも設置した結果、樹上で確認されたミヤコカブリダニ虫数が増加した（図2）。



注：↓は殺ダニ剤の散布を示し、3月14日にピフルプロミド水和剤、5月23日にアセキノシル水和剤、7月14日にアシノナピル水和剤を散布した。

図1 ナミハダニ、ミヤコカブリダニの確認虫数の推移（頭/葉）



注：ミヤコバンカーを2023年3月17日、2024年3月8日、2025年2月28日に設置し、各年8月下旬まで調査を実施した。

図2 ミヤコカブリダニの確認虫数

表1 防除実績の一例（2025年）

日付	時期	薬剤
1月9日	発芽前	マシン油乳剤
2月1日	開花前	キャプタン水和剤 フルベンジアミド水和剤
2月14日	落花期	キャプタン水和剤 フェンヘキサミド水和剤
2月28日	落花後	ミヤコカブリダニ製剤
3月14日	果実肥大期	ビラクロストロピン・ボスカリド水和剤 プロフェジン水和剤 ピフルプロミド水和剤
3月31日	果実肥大～黄果期	フェンプロコナゾール水和剤 シアントラニプロロール水和剤
5月15日		チウラム水和剤
5月23日		アセキノシル水和剤
5月30日		キャプタン・有機銅水和剤
6月14日	収穫後	チウラム水和剤
7月4日		スルホキサフロル水和剤 有機銅水和剤
7月14日		チウラム水和剤 アシノナピル水和剤
8月4日		キャプタン・有機銅水和剤

問い合わせ先

TEL：023-644-4241

山形県病害虫防除所

e-mail：ybyogaichu@pref.yamagata.jp

執筆者：佐藤 唯風